

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公表番号】特表 2018-528282 (P2018-528282A)

【公表日】平成 30 年 9 月 27 日 (2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-037

【出願番号】特願 2018-501224 (P2018-501224)

【国際特許分類】

C 0 8 G 65/48 (2006.01)

C 0 8 G 59/16 (2006.01)

C 0 8 F 22/40 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 65/48

C 0 8 G 59/16

C 0 8 F 22/40

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 28 日 (2019.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

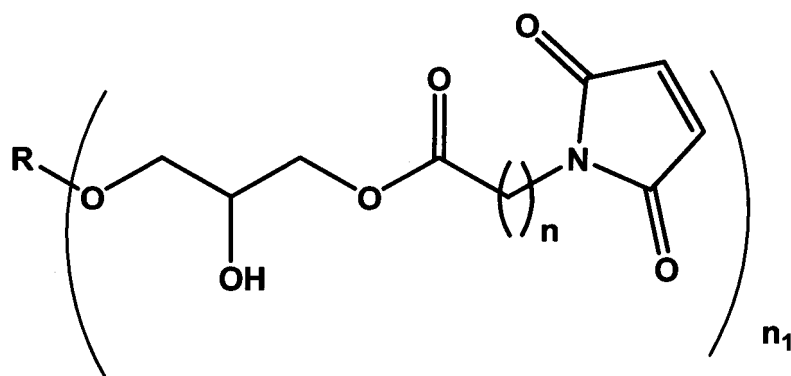
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の構造を含む樹脂。

【化 1】



(式中、

R は、直鎖または分枝アルキル、直鎖または分枝シクロアルキル、アルキレン、シクロアルキレン、ビスシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキル、シクロアルキル、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意に O または S またはヒド

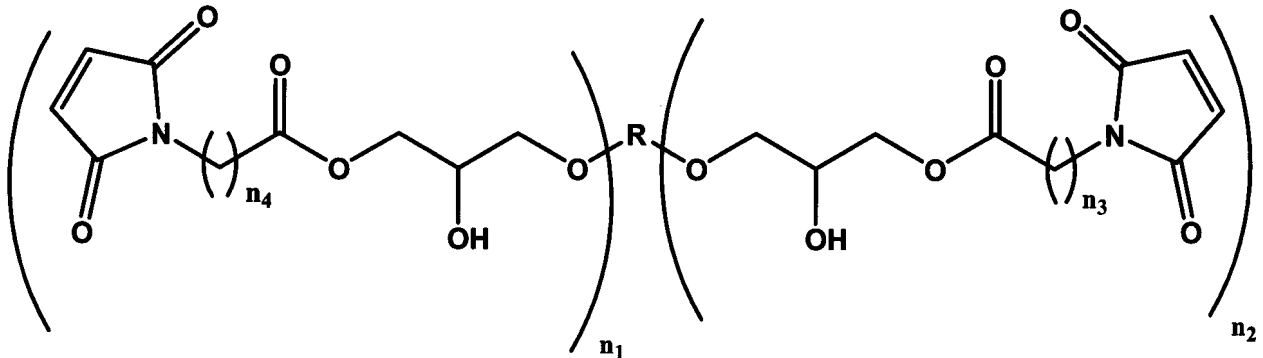
ロキシル基を含むことができ、

n は、それぞれ独立して 1 ~ 10 であり、 n_1 は、1 または 2 である。）

【請求項 2】

以下の構造を含む樹脂。

【化 2】



(式中、

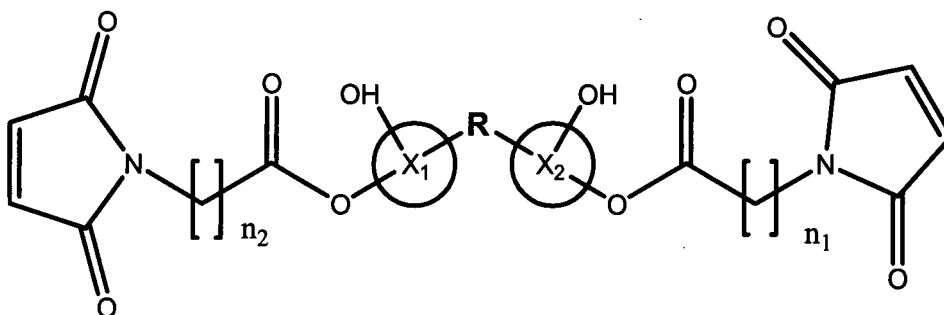
R は、アルキレン、シクロアルキレン、ビスシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意に O または S またはヒドロキシル基を含むことができ、

n_1 、 n_2 、 n_3 および n_4 は、それぞれ独立して 1 ~ 10 であり、ただし、 n_1 および n_2 の合計が 2 である。)

【請求項 3】

以下の構造を含む樹脂。

【化 3】



(式中、

X_1 および X_2 は、独立して、任意に 1 個以上のヘテロ原子を有する官能化または非官能化脂環式基から選択される 3 ~ 10 員環であり、

n_1 および n_2 は、それぞれ独立して 1 ~ 10 であり、

R は、アルキレン、シクロアルキレン、ビスシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン

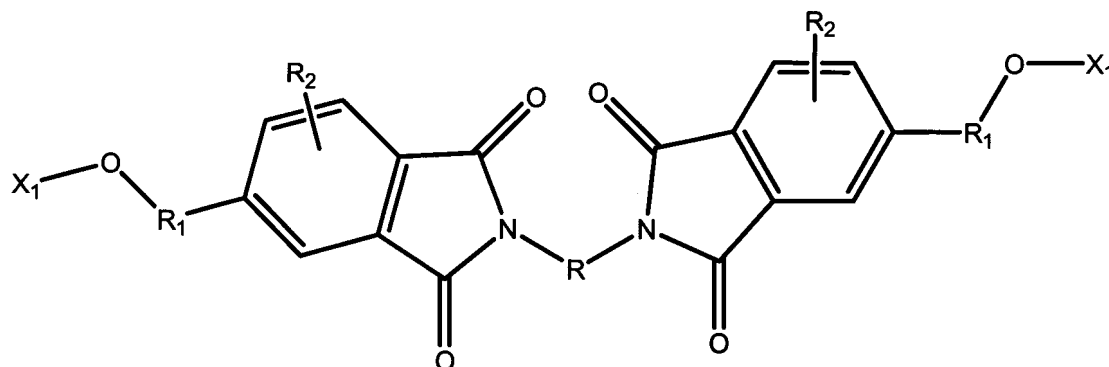
、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒドロキシル基を含むことができ、

Rは、任意の位置で環構造 X_1 および X_2 に連結し、ただし X_1 および X_2 環上のヒドロキシル基が、マレイミドアルカノイル基に隣接する。)

【請求項4】

以下の構造を含む樹脂。

【化4】



(式中、

Rは、アルキレン、シクロアルキレン、ビスシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒドロキシル基を含むことができ、

R_1 は、カルボニル基、1種以上のエステル、エーテル、ヒドロキシルまたはチオエーテル基を含んでもよい脂肪族または芳香族であることができる連結基であり、

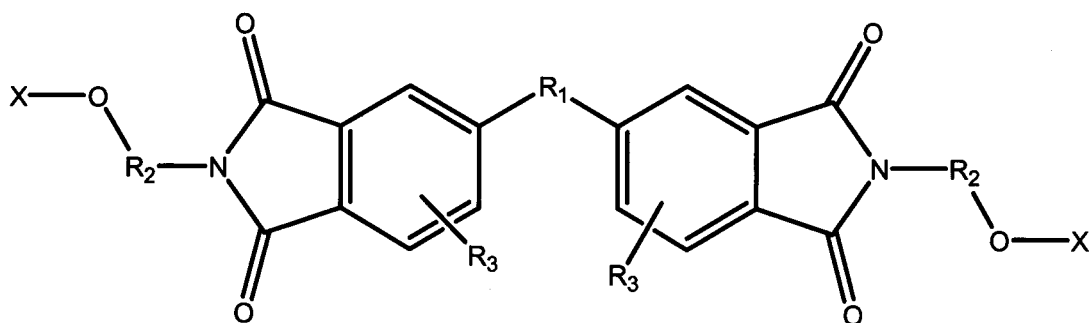
R_2 は、H、ハロゲン、アルキル、アルキルエーテルまたはチオエーテル基であってもよい芳香環上の置換基であり、

X_1 は、マレイミドアルカノイルまたはマレイミドアロイル基から選択される。)

【請求項5】

以下の構造を含む樹脂。

【化 5】



(式中、

R_1 は、単に 2 つの芳香族基を連結する結合であり、O、カルボニルまたはアルキレン、シクロアルキレン、ビスシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択される連結基であり、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意に O または S またはヒドロキシル基を含むことができ、

R_2 は、1 種以上のエステル、エーテル、ヒドロキシル、チオエーテル、カルボネート基を含んでもよい脂肪族または芳香族連結基であり、

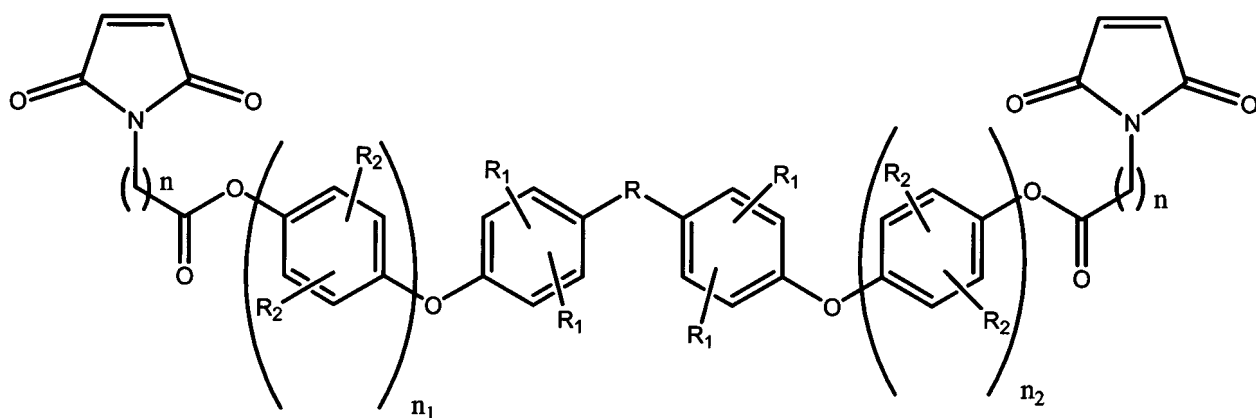
R_3 は、H、ハロゲン、アルキル、アルキルエーテルまたはチオエーテル基であってもよいアリール基上の置換基であり、

X は、マレイミドアルカノイルおよびマレイミドアロイル基から選択される。)

【請求項 6】

以下の構造を含む樹脂。

【化 6】



(式中、

R は、アルキレン、シクロアルキレン、ビスシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビスシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビスシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン

、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒドロキシ基を含むことができ、

R₁ および R₂ は、それぞれ、任意にヘテロ原子を含有する直鎖または分枝脂肪族基であり、

n は、1 ~ 10 であり、および

n₁ および n₂ は、それぞれ 1 ~ 100 である。)